

R18  
aimaimoco



ハ  
ス  
ト  
ハ  
イ  
、  
ウ  
イ  
、  
キ  
ャ  
、  
サ  
イ



ソウルジェムが濁れば濁るほど、  
とりとめのない疑問が泡みたいにぶくぶく浮かんで、  
納得のいかないままパチンパチンと弾けていく。  
(それはまるでゆらゆらと水にたゆたうみたいで  
不思議とつらさが麻痺していくのでした。)



この泡が全て消えてしまったら、  
昔絵本で読んだ人魚姫みたいにあたしも  
誰にも迷惑かけずに綺麗に消えてしまえばいいのに。

恭介はどうして  
退院の連絡を  
くれなかったんだろう。

まどか  
あたしのこと  
嫌いになったかな。

あの男達の  
彼女はあたしを  
恨むんだろうか。

仁美はきっと  
自分が勝つ自信が  
あったから  
一日待つなんて  
言ったんだ。

どうしてあたしは  
頑張れば頑張るほど  
ひどい目にあって  
なってしまうんだろう。

ママさんの魂は  
天国に行けたかな。

ダッ!



やっと見つけた!



な、なんだよ、  
らしくねえじゃん。

うん。

あんたさ、  
いつまで  
意地張る気だ?

…悪いね、

手間  
かけさせちゃって。





別にどうでもいでも  
よくなっちゃったからね。

ッ！

結局あたしは  
一体何が大切に  
何を守ろうとしてたのか

なにもかも  
わけわかんなく  
なっちゃった。



どうして

こんな奴に  
こんなこと  
話してゐんだらう。



どうして

こいつが  
泣きそうな顔を  
するんだらう。



あたしって

ほんと……



それでも、

あんたは  
頑張ってたじゃねえか。

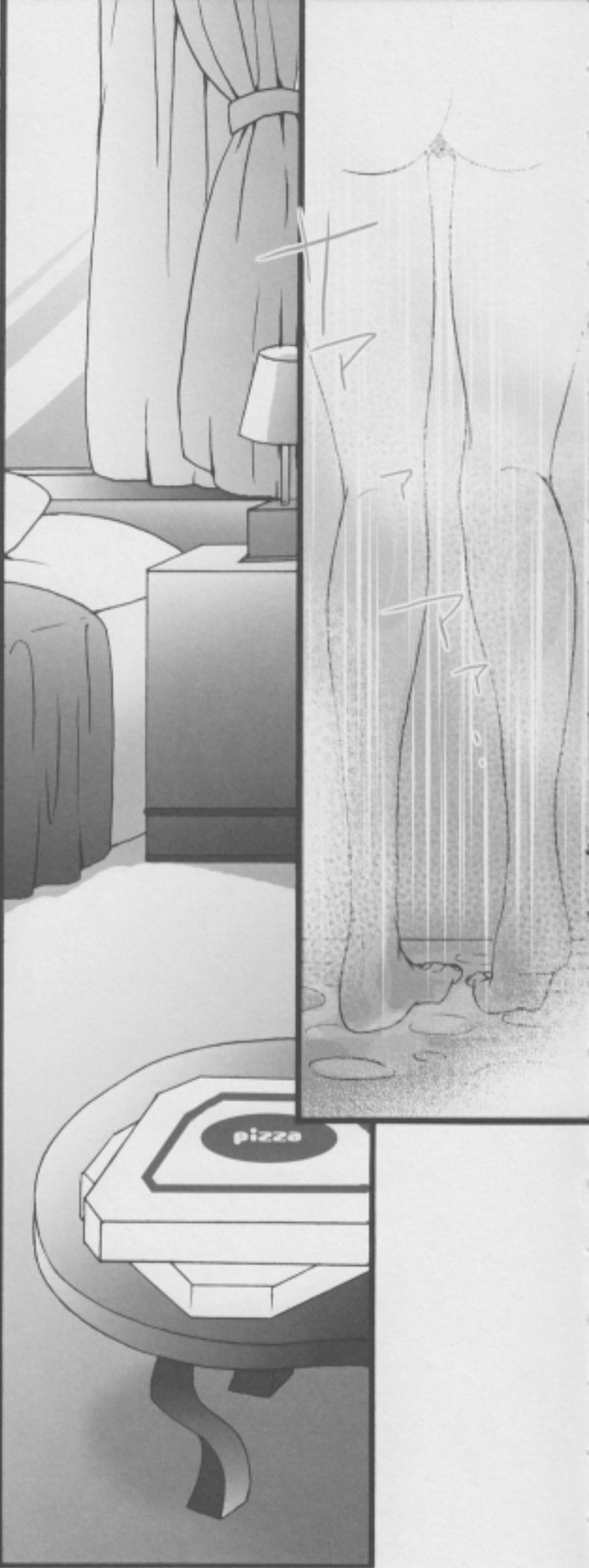
アムリ



どうして  
あたしを  
見つけてくれたのが

一番欲しかった  
言葉をくれるのが、

まどかでも  
恭介でもなく、  
この男なんだろう。





バスローブ  
置いてただらろ!!

……こういうつもりで  
連れて来たんじゃないの?

馬鹿、  
そんな気ねえよ……

いいから  
何か着ろ。

ふふふ。

私がいって  
言っただからさ。

したらいいじゃない。



…だつて  
こんな抜け殻  
みたいな身体、

大事にしたつて  
意味ないじゃない。

ふざけんな！

ヤケになつてる女  
抱くほど  
落ちぶれてねえつて  
言つてんだよ！

ゾンビが一人前に  
自操語つたつて  
お笑い種でしょ。



さやか…

ねえ、  
あんたで我慢してあげるつて  
言つてんのよ。

こんなとこまで  
連れて帰つて来たんだから、  
ちゃんと責任取つてよ…！！





すぎだ。

絶対勘違いすんな。

あんたが好きだ。

だから抱く。



な、

何言ってるのよ  
好きとか……

馬鹿じゃないの!?



……ッ

やだ

ん……ッ

ふ、

……ん

でも、

手

恥ずかしい

息苦しい

あったかい……

……ん













あ...あ...

あ...あ...

あ...

あ...



あ...

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...

あ...



足、開けよ。

なッ...

そんなの...



もっ...

はか...

っ♡

あ...

あ...



あ...

あ...あ...♡



開かないと  
続き出来ないぞ。

っ...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

はかあ♡

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...  
助すかしへん  
死んじやき...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...

んんん...







びびびびびび

びびびびびび

もう

大丈夫かな

あーっ

舐められたとこ、  
じんじんして...

びびびびびび

びびびびびび

びびびびびび

びびびびびび

おなが、

なんだか  
変...

♡♡

きゃーっ

びびびびびび

びびび



…ミナ

も

Get up!

end

さやか、

大丈夫だから  
息吐け。

Get up!  
Get up!  
Get up!

ミナ

Get up!

Get up!  
Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!

Get up!







…なあ

俺じゃ駄目か？

好きなんだ。

放っておけないんだよ  
あんたのこと。

な…っ

な…っ

言…

やめて

そりゃあ  
あの坊ちゃんが  
好きだってんだから

俺は好みじゃ  
ねーだらうけどさ、

サ…ッ  
サ…ッ  
サ…ッ

ほ…っ  
ほ…っ  
ほ…っ

俺なら  
あんたと同じ立場で  
考えて

気持ち分かって  
やれるだろ？

あ…っ  
あ…っ  
あ…っ

やめてよ

「だったら  
どうして  
もっと早く  
来てくれなかったの？」

なによりさ

♡♡♡

♡♡♡



「どうして  
あたしを  
止めてくれ  
なかったの？」

ジュン

俺は…ッ

あんたのこと

絶対ひとりほっちは  
させねえから……

ジュン

ジュン



……ッ

……ッ  
う……

は……

……ッ

……ッ  
……ッ  
……ッ

泣き止んで  
泣き止んで

うあああ……ッ

こいつの  
つらい気持ち全部、  
流れちまったらいい。

っあ、

ひ……

そしたら  
今度こそ、

一緒に  
やり直せるかな……

もう遅い。

もう遅い。

何もかもが  
もう手遅れなのに

この男のせいで  
次々とまた  
未練とか悔恨とか  
薄汚い気持ち  
湧き出て、

あたしは  
泡に消えることも  
出来ず、

生きてまま  
腐っていく  
みじめな人魚姫だ。



Piano

*mf*

曖昧  
模糊

2011 SPRING 6th WORK

The image shows a musical score for piano. It consists of two staves, treble and bass clef, with a key signature of two sharps (D major) and a 3/4 time signature. The music is written in a simple, accessible style. The dynamic marking *mf* (mezzo-forte) is present. The score is overlaid with a large, stylized graphic of the Chinese characters '曖昧' (Ambiguous) and '模糊' (Fuzzy) in a pink and green color scheme. Below the characters, the text '2011 SPRING 6th WORK' is written.